

薬剤師も「医療紛争の時代」へ

第73回九州山口薬学大会



棚瀬氏

1999年から2004年をピークとした近年の医療過誤訴訟の増加に伴い、薬剤処方についての責任を問われる裁判例も少なくない。最近では、病院のみならず薬局や薬剤師個人の責任を肯定する判例も見られる。このような現況の中、昨年11月に沖縄市内で開かれた第73回九州山口薬学大会で棚瀬慎治氏(棚瀬法律事務所代表弁護士)は、薬剤師としてのリスクマネジメントについて講演した。

棚瀬氏によると、医療事故は交通事故に比べて、被害者意識が強く、感情的対立が激化する構造的要因がある。その背景に、医療者は「医療は不確実であるが、その上で患者を良くしたい」と考えているのに対し、被害者側には「医療はうまく行って当たり前」の強い認識があるためだ。

医療紛争は、民事裁判と刑事裁判に分かれる。民事裁判は、患者側から金銭的な賠償請求がなされる。患者側が勝訴したマスコミ報道の取り扱い方が大きいため、患者側がよく勝訴しているように思われがちであるが、必

ずしも患者側の勝訴率は高くないという。

これまでは医師への訴訟が多かったが、最近は薬剤師に対するものの増えているという。薬剤師を訴えるか否かは患者側の裁量。「薬剤師個人に対する訴訟では、薬局の賠償責任保険は使えない。個人の保険に入っているかどうか確認しておく必要がある」とした。

バイタルサイン確認も必要



堀内氏

医薬品の副作用防止や早期発見につなげることを目的として、近年、薬剤師が意識レベルや体温、脈拍、呼吸などのバイタルサインを確認するフィジカルアセスメントによって、直接患者状態を把握することの重要性が高まっている。堀内龍也氏(日本病院薬剤師会会長)は講演の中で、「医薬品の有効性の確認や副作用の早期発見には患者状況の把握が必要不可欠。薬剤師によるフィジカルアセスメントが必要」と訴えた。

講演の中で堀内氏は、「地域医療へのニーズがさらなる高まりを見せる中、保険薬局薬剤師もフィジカルアセスメントを行わねばならない」と断言。

その背景について、「日本の中核病院でも、

裁判において基本的に添付文書は有力であるが、「合理的な根拠があれば、それ以外の処方も認めるという考え方が判例のバックグラウンドにある」とし、「緊急性安全情報も、判決で重視されることにも留意してほしい」と訴え、薬剤師が多様な医薬品情報に精通している必要性を指摘した。

医薬品による有害事象は入院患者の2割に起こっている」と報告。

その上で、「薬剤師が薬物療法、薬全般に責任を持つには、患者状況を正確かつ迅速に把握するためのフィジカルアセスメントが極めて重要になる。ただ、薬剤師が常に(病棟を)ラウンドしてフィジカルアセスメントを行うには、薬剤師の病棟配置が不可欠」と強調した。

薬剤師によるフィジカルアセスメントの重要性を指摘し続けている堀内氏は、数年前の状態を振り返り、「薬剤師は患者に触ってはならないとの認識が主流であった。だが現在は、フィジカルアセスメントについて未経験であった薬剤師が、熱心にスキルを身に付けようとしている」と述べた。

さらに「薬剤師業務の中心は、従来、処方監査が中心であった。今後はチームカンファレンスにおいて医師と共に処方箋を作成する役割が期待されている」とし、薬剤師業務の深化を強調した。

学会ニュースクリップ

第5回日本薬局学会学術総会

国民医療での使命に“意識改革”を

昨年11月、千葉市内で開かれた第5回日本薬局学会学術総会で講演した厚生労働省の武田俊彦政策統括官参事官(社会保障担当)は「国民医療費に占める調剤医療費の割合が非常に大きくなった。その規模に応じた社会的責任が求められている」と語る。また、後発品医薬品の使用促進について、薬局・薬剤師に責任ある対応を求めた。

武田氏は調剤医療費が、医療費全体の中で大きなシェアを持ち、自然増分のかなりを占めることなどを示し、「国民医療において薬局・薬剤師の役割・使命を改めて認識し、今

後の対応を進める必要がある」とした。

その上で薬局・薬剤師に対して、▽災害時の対応▽後発品の使用促進▽在宅医療での活躍——に大きな期待感を示した。

後発品については、「患者との対話で、医薬品が選択できるのは薬剤師にとって革命的。薬局が真に信頼できるメーカーを絞ることも可能」とし、経済的視点のみならず、職能面でも意義あることとした。

一方、薬剤師の在宅医療への取り組みが飲み忘れ改善など、約400億円の薬剤費が削減するとされる。武田氏は「要するに、医薬分業が役に立っていないということか。患者



が他にどんな薬を飲んでるかなど、トータルな相談に乗るべき。今の技術料は、それらを含め支払われている」と、薬剤師職能の“概念”を整理した。

ファーネット2012 & 2013

「薬剤師を目指す薬学生」のための求人情報サイト!

西日本中心の求人を100社以上掲載 & 病院情報も2012年2月から掲載!

ファーネットBOOKプレゼント! PRESENT CAMPAIGN
会員登録者にはもれなく薬局に特化した就活情報紙「ファーネットBOOK」をご宅にお届けいたします!(年2回発行)

今すぐアクセス!
http://www.pha-net.jp/

検索ボタン



株式会社ユニヴ UNIV CO., Inc
http://www.univ.co.jp

大阪本社 〒530-0047 大阪市北区西天満 3-4-15 公冠ビル 2F
東京支社 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-2-2 アマンド赤坂ビル 7F

TEL: 06-6361-3601
TEL: 03-5549-2420

名古屋支社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-14 大和ビル 7F
九州支社 〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-7 天神クリスタルビル 14F

TEL: 052-533-0361
TEL: 092-721-1027

